

白岡市学校給食委員会運営部会委員 様

教育総務課長

令和 5 年度第 1 回白岡市学校給食費改定検討委員会会議（書面会議）意見書取りまとめについて（通知）

学校給食事業の推進につきましては、日ごろ格別の御指導、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和 5 年度第 1 回白岡市学校給食費改定検討委員会会議については、令和 5 年 8 月 3 1 日付け教育総務課事務連絡「令和 5 年度第 1 回白岡市学校給食費改定検討委員会会議の書面開催について（通知）」のとおり、書面により実施しました。

意見書の取りまとめ結果を以下のとおり報告いたします。

記

1 意見書の提出状況について 給食委員会委員 13 名のうち 13 名提出（提出率 100%）

2 令和 5 年度第 1 回白岡市学校給食費改定検討委員会会議の書面会議の意見書取りまとめ結果について

意見聴取事項 議案第 1 号 学校給食費改定（案）

(1) 学校給食費改定案について

【改定案の希望結果】

区分		委員人数
案 1	小学校 月額 4,829.33円（1日当たり 283円）	1名
	中学校 月額 5,503.19円（1日当たり 322円）	
案 2	小学校 月額 4,875.77円（1日当たり 285円）	9名
	中学校 月額 5,568.36円（1日当たり 326円）	
改定案について明記なし		3名

【意見内容】

○案 1 を選んだ理由

- ・国が出している消費者物価指数にて算出した案 1 がいいと思う。

○案 2 を選んだ理由

- ・39 円の値上げは、比較表の平均値からも妥当と思われる。案 2 でよいのではないのでしょうか。
- ・給食費の金額を検討する上で P 3・4 の表はとても分かりやすくてよか

った。この表から考えると「案１」でもいいのではないかとも思えるが、これから、しばらくは給食費の改定が行われないこと、値上げの終わりがまだ見えていないことをふまえて給食の質を維持していくために、どうすればいいのかを検討する意味で「案２」は必要ではと思われる。

- ・ 献立内容や食材の品質の維持のため、改定案２を要望します。
- ・ 改定案２で良い。
- ・ 「案２参考」の資料の通り、ここ２年間で小学校３３．８４円・中学校３９．２０円食材費が上がっており、案１より案２のほうが実際の価格と一致している。
- ・ 給食の質を維持するために給食費の値上げをするべきだと思います。特に中学校の栄養価を満たすために給食費が必要なため、改定案２を希望します。
- ・ 学校給食の実施回数や質を維持するためは、案２の金額にするのが妥当だと思います。
- ・ 案２を支持します。給食のクオリティを維持するためには値上げはやむを得ないと。
- ・ 学校給食の実施回数や質を維持するためには学校給食費の値上げはやむを得ないと思います。献立内容の充実のため、改定案２がいいと思います。

(2) 学校給食費の改定について

【意見内容】

- ・ 物価高騰に伴って、回数や質を維持するには、値上げをやむを得ない。
- ・ 前回改定の平成２７年度から給食回数の増加もされていて、昨今の食料費の値上げが続く中で給食の質を維持していくためには、給食費の値上げはやむを得ないと思われる。
- ・ 小学校の給食費のやりくりも苦慮しておりますが、特に中学校は現在の給食費で納めるためにかなり苦慮しています。算出根拠の数字以上にやりくりしていることも知っていただきたいです。
- ・ 物価上昇率を考えると値上げはやむを得ない。質を落とさず、おいしい給食を提供してほしい。
- ・ 物価は年々上昇しており、今後も下がることは考えずらい。
- ・ 食材の代替努力もいいが、安全で豊富な種類の食材を使用した、楽しくなるようなメニューを提供してあげたい気持ちが個人的には強い。
- ・ 世の中の情勢をみても、値上げはやむを得ないと思います。
- ・ 質を維持していくためには、増額はやむを得ないと思います。
- ・ 全国の給食会社の３０％が赤字に近い経営をしているとニュースで見ました。物価上昇はみんなが苦しいですが、子どもの成長に食事は欠かせません。増額賛成です。
- ・ いつもおいしい給食をありがとうございます。増額賛成です。今後とも、おいしい給食をお願いします。

- ・ 昨年よりも食材の品質が下がっている等の声も聞かれるので質の維持のためには、学校給食費の値上げはやむを得ないとする。
- ・ 物価高騰により、学校給食費の値上げはやむを得ないと思います。
- ・ 物価高騰による学校給食費の値上げはやむを得ない。

【意見の要旨】

- ・ 委員全員から物価高騰による学校給食費の値上げはやむを得ないとの意見がありました。
- ・ 特に中学校は小学校の1.2倍の分量で食材を使用するため、学校給食費のやりくりが厳しい状況です。

(3) 学校給食費の改定金額について

【意見内容】

- ・ その都度その都度の値上げはよろしくないのでは、この先の事も十分考慮して値上げ幅を検討してもらいたい。
- ・ 何度も値上げを実施するのは難しいと思われるため、上げるならしっかりと実情に合った金額にしてしまったほうが良いと思う。
- ・ 物価上昇率を基準に給食費を上げても、苦しいままだと思います。もっと増額をするべきだと思います。

【意見の要旨】

- ・ 学校給食費の改定額について、何度も値上げせずに済むような値上げ幅が良いとの意見や物価上昇分だけでは、苦しいとの意見がありました。

【意見の回答】

- ・ 改定案1及び改定案2の算出根拠については、両案とも現在の物価上昇を基準として、学校給食費の改定額を算出しています。事務局としては、今後の物価上昇の予想が難しいと考え、現状の物価上昇を基準とし、今回の書面会議の資料としました。今後、3年ごとに学校給食費の見直しを必ず実施し、物価の現状に見合った学校給食費の設定を目指したいと考えています。
- ・ 改定案以上に増額するには、その増額分の根拠が必要となります。物価上昇率をみることで、現状が把握でき、実情に見合った学校給食費の設定ができると考えています。また、学校給食の質の維持という面からも、やみくもに値上げをするのではなく、理由があってこそその学校給食費の設定を行いたいと考えています。

(4) 学校給食費改定額の設定について

【意見内容】

- ・ どちらの案になっても、1食単価はあくまで目安であり、給食費の徴収を月額で行うときは、100円単位で行われるようにしてほしい（小4 800円 or 4900円など）。また、日額で徴収するときも、1食固定の金額で保護者に説明がしやすいよう設定をしてほしい。

【意見の回答】

- ・ 学校給食費の徴収金額については、月額を100円単位にて設定したいと考え

ています。また、物価高騰の現状を鑑みて、繰り上げた月額に設定したいと考えています。

- ・日額については、1食固定の金額にて設定すると、食数を乗じた際に徴収金額及び返金金額と実際に喫食した学校給食費の差が開くため、現状のまま、早見表を用いた徴収及び返金としたいと考えています。

(例) 現行の小学校給食費徴収金額表(月額4,300円 1食あたり252円)

喫食数	現行		1食固定金額の場合		差額
	計算式	改め金額	計算式	金額	
1	$1 \times 252 = 252$	2 6 0 円	1×260	2 6 0 円	0 円
2	$2 \times 252 = 504$	5 1 0 円	2×260	5 2 0 円	1 0 円
3	$3 \times 252 = 756$	7 6 0 円	3×260	7 8 0 円	2 0 円
4	$4 \times 252 = 1,008$	1 , 0 1 0 円	4×260	1 , 0 4 0 円	3 0 円
5	$5 \times 252 = 1,260$	1 , 2 6 0 円	5×260	1 , 3 0 0 円	4 0 円
6	$6 \times 252 = 1,512$	1 , 5 2 0 円	6×260	1 , 5 6 0 円	4 0 円
7	$7 \times 252 = 1,764$	1 , 7 7 0 円	7×260	1 , 8 2 0 円	5 0 円
8	$8 \times 252 = 2,016$	2 , 0 2 0 円	8×260	2 , 0 8 0 円	6 0 円
9	$9 \times 252 = 2,268$	2 , 2 7 0 円	9×260	2 , 3 4 0 円	7 0 円
10	$10 \times 252 = 2,520$	2 , 5 2 0 円	10×260	2 , 6 0 0 円	8 0 円
16	$16 \times 252 = 4,032$	4 , 0 4 0 円	16×260	4 , 1 6 0 円	1 2 0 円
17	$17 \times 252 = 4,284$	4 , 2 9 0 円	17×260	4 , 4 2 0 円	—
18 以上	$18 \times 252 = 4,536$	4 , 3 0 0 円	18×260	4 , 6 8 0 円	—

(5) 給食費の補助金について

【意見内容】

- ・今年度2学期から補助金が出るが、補助金を出すタイミングと値上げのタイミングを同時期にしたほうが、各家庭で感じる負担感が少なかったのではないかなと思う。

【意見の回答】

- ・国からの交付金(補助金)については、令和5年度内でのみ活用できる財源であるため、令和6年度以降に使用することができません。また、現時点では令和6年度の国からの補助金の有無については未定であるため、学校給食費の値上げと同時期に交付金(補助金)を使用することは、現状難しいと考えています。

(6) 学校給食の実施回数について

【意見内容】

- ・値上げ、徴収額が上がっても良いので、給食の回数を増やしてもらいたい。(他の市より、数が少ない?夏休み前など)栄養バランスを考えると、長期休みの自宅での食事がバランスに欠くので。

【意見の回答】

- ・現在、白岡市において計画している給食の年間実施予定回数は、188回です（各小・中学校の行事等により減少する場合がある）。埼玉県の前年度平均年回予定実施回数は小学校187回、中学校186回であり、他市町村と差はあまりない状況です。給食実施回数については、学校の授業計画とも関連があるため、教育指導課とも今後協議・検討します。

(7) 学校給食費の滞納について

【意見内容】

- ・給食費滞納の保護者に向けて「私会計」のため市が介入できないとのことだが、市が同一の給食費で給食を提供していることもあり、滞納の保護者への子育て支援の連携等を考えると、市が主導で行えるように「公会計」へむけて検討をしてほしい。
- ・増額改定には賛成ですが、同時に未納家庭が増加することが懸念されます。未納の対応についても併せて検討していただきたいです。

【意見の回答】

- ・現在の白岡市の学校給食費の会計方式については、「私会計」となっており、各学校長が学校給食費の請求・徴収、食材料の支払いを行っています。学校給食費の滞納整理については、「給食費滞納対応マニュアル」に基づき各学校にて対応いただいておりますが、こども手当からの学校給食費の徴収など市との連携も必要な場面も多い状況です。公会計については、他市町村の導入方法などを調査・研究してまいります。

3 議事以外の御意見等

(1) 無償化について

【意見内容】

- ・学校給食費の無償化は白岡市として検討はありますか？

【意見の回答】

- ・白岡市としては、学校給食費に対する保護者負担の軽減は、地方自治体が個々に対応するのではなく、国が全国一律に対応すべき課題であると考えています。
現時点では、国は「今後3年間で加速して取り組むこども・子育て政策」の一つとして、学校給食費の無償化に向けた実態の把握と課題の整理を行うことを掲げています。
学校給食費の無償化については、国でも実態の把握と課題の整理が始まったところでありますので、国の動向に注視し、具体的な計画が示されましたら、市としての対応について判断していく予定です。

(2) 食材料費の学校規模による差について

【意見内容】

- ・学校規模によって食材料費の購入額に差が生じ、その結果学校間に差がで

るのは問題ではないだろうか。一律公会計を望みます。

【意見の回答】

- ・学校給食にて使用している食材料は、1kg単位や500g単位など大量調理向けの内容量となっており、食材料の内容量を少量にするほど単価が高額になる現状があります。このことから学校で調理する給食の食数によって、同じ内容の献立でも1食に掛かる食材料費に差が生じ、児童生徒数の少ない学校では、食材料費が厳しい状況となっています。

食材料の内容量による食材料費の差を解消するには、①白岡市内の献立を統一せず、学校規模に合わせた献立を各学校にて提供することや②学校給食費を各学校ごとに設定するなど各学校が独立管理する必要があると考えています。

※御意見は、いただいた表記のとおり、順不同に記載しております。

担当 教育総務課 学校給食担当
電話 9 2 - 1 1 1 1 内線 2 5 4